

秋田県教育委員会（所在地：秋田県）

事業名

秋田県「障害者の生涯学習支援モデル事業」

事業の趣旨・目的

- ・ 障害の有無に関わらず、互いに尊重し支え合う共生社会の実現
- ・ 効果的な学習プログラムの実施や実施体制に関する調査研究の実施

事業内容

- ・ 地域連携コンソーシアム会議（年2回）
 - ・ 各再委託先における「連絡会議」（年2回）
 - ・ 県生涯学習センターにおける調査研究委員会（年3回）
 - ・ 秋田大学における「大学での学びに係る検討会」
 - ・ 秋田大学における障害者のニーズに応じたモデル講座（年2回）
 - ・ 県障害者サポーター養成講座修了者への周知、ボランティア協力依頼
 - ・ 障害福祉担当課から依頼され、2市の自立支援協議会で事業説明
 - ・ 高等学校ボランティア活動部を活用した同世代交流
 - ・ 保護者対象に、費用負担の在り方（主に送迎、参加費等）に関するアンケート調査
 - ・ 生涯学習情報の提供に係るインターネット情報システムの在り方検討
- ※コンファレンス（秋田大会）、全国公民館研究集会におけるミニコンファレンスは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

事業実施体制・連携先

- 地域連携コンソーシアムの構成員 ※コーディネーターは県生涯学習課事業担当
- ・ 大学教授 ・ 県手をつなぐ育成会長 ・ 就業・生活支援センター長
- ・ 相談支援専門員 ・ 県特別支援学校PTA連合会長 ・ 障害当事者
- ・ 県障害者スポーツ協会会長 ・ 障害者アートNPO法人代表
- ・ 再委託先事業所管理者（5団体） ・ 市町村生涯学習担当課長（5市）
- ・ 特別支援学校長（5校） ・ 県障害福祉課長 ・ 県特別支援教育課長

研究の成果と課題

- <成果>
- ・ 地域連携コンソーシアムによる本事業に係る関係機関の連携強化（障害者が、地域の学びの場に主体的に参加できる持続可能な地域にするために、得意とする分野や役割について明確化）
 - ・ 公民館講座への参加者の増加（6回の講座に138名の障害者が参加）
 - ・ 高校生ボランティアの活用による同世代交流の創出
 - ・ 特別支援学校（青年学級含む）や高等学校とコラボした講座等の創出（支援学校青年学級連携講座：ボッチャ、卓球バレー、eスポーツ）
 - ・ コロナ禍におけるSNSやオンライン等を活用した講座運営
- <課題>
- ・ 地理的条件、公共交通機関の不便さによる外出困難な障害者に対する生涯学習支援の在り方
 - ・ 生涯学習講座を支援する幅広い年代のボランティアの育成
 - ・ 真に参加につながる形での生涯学習情報の提供
 - ・ 特別支援学校の在校生・保護者に対する在学中からの事業周知・啓発

その他研究の詳細など



地域連携コンソーシアム 議事録（美の国あきたHP）



「障害者の生涯学習」に関する ニーズ調査（美の国あきたHP）



NPO法人逢い（再委託先）の YouTubeによる活動紹介



【支援学校での卓球バレー】

【秋田大学でのモデル講座】

【コンソーシアムでのグループ協議】